

エコけん ニュース

No. 98 2007. 9

連絡先 NPO法人エコけん事務局

FAX 092-944-3012 (火~土 9:00~17:00)

e-mail eco_ecoken@ybb.ne.jp

発行責任者 清水佳香

http://www10.ocn.ne.jp/~ecoken/

8月活動報告



日中は厳しい残暑ながら、やっと幾分過ごしやすくなりました。
今年の夏も暑かったですね。

8月のエコけんは、定例になりました先生対象の学習プラン作成ワークショップを無事終えほっとしました。また、TNCの番組への出演に際し、足こぎ発電機の改良には多くの方の支援を受けました。感謝の気持ちでいっぱいです。

エコロの森では、夏休み教室やアーティスト作品展覧会、再生家具・自転車の展示入札会などにぎやかな毎日でした。またこの時期ならではの学童さんの来館も定着してきましたようです。いろいろな方にエコロ環境教室をさせていただいて、スタッフは一層たくましくなっています。

「エコロまつり」を間近に控え、活気に満ちたエコロの森へどうぞお立ち寄りください。お待ちしております。

日	自主事業	受託事業 (エコステ活動)
1	<p>代表がまたまた テレビ出演! 見ていただけ ました?</p>	子どもエコエコクッキング (アート作品展覧会 夏休み教室)
2		子どもエコエコクッキング
3		わくわくワークショップ 工場見学+環境講座
4		再生家具・自転車展示入札会開始
6	定例会議	教室会議 ポラ育成会議 展示会議 運営会議
7		エコロ環境教室《学童》
8	学習プラン作成ワークショップ	エコロ工作(万華鏡) 工場見学+環境講座
9	しろくま会議	紙すき教室
10	福津市環境リーダー養成講座講師	エコロ工作(拓本アート)
16		再生・家具自転車引き取り開始
17	TNCテレビ「ニジ☆ゴジ」出演	
18	ニュースレター28号配信	
21		工場見学+環境講座
22	しろくま会議	エコロ環境教室《市民団体 学童》
23		エコロ環境教室《学童》
24		ペットロケット かえっこショップ
25		紙すき教室
28		エコロ環境教室《事業者》
29	エコけんニュース97号発行	ほっとちやっと51号発行 ボランティア通信発行

環境危機時計 9:31 (平均時刻)

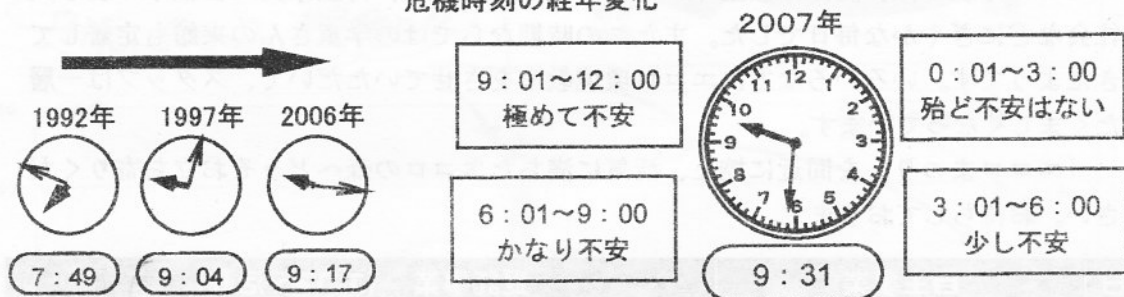
環境危機時計とは ～人類存続の危機に対する認識～

財団法人旭硝子財団による、世界の環境有識者を対象とする環境アンケート調査の結果を受け作成。(平成4年より毎年実施)

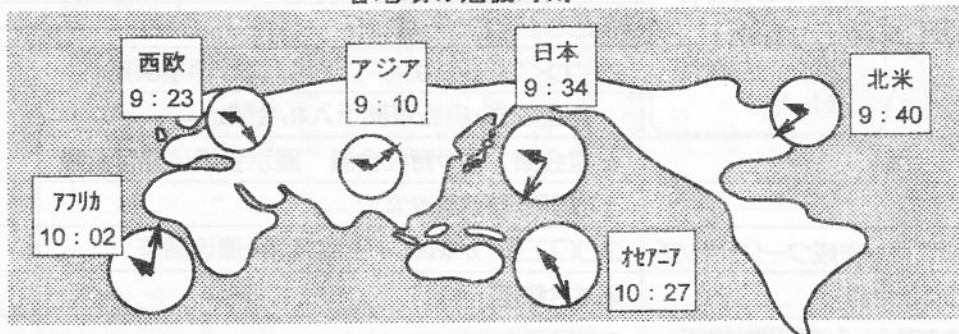
地球環境の悪化に伴って人類存続に対して抱く危機感を時計の針で表示。

毎日続く猛烈な暑さ。この夏、いろいろなところで「地球環境の変化への不安」の声が聞かれました。そんな折、新聞に「環境危機時計」の小記事を見つけ、調べてみました。

危機時刻の経年変化



各地域の危機時刻



危機時刻を決める上で、念頭に置かれた項目は「地球温暖化」が最も高く7割。回答者の9割が温室効果ガスの排出を将来的に現在の50%以下にする必要があるとのこと。石油エネルギーに変わる手段としては「太陽光発電」、個人の意識改革を促すのに効果的施策としては「学校環境教育カリキュラム強化」が、最も高かったのが印象的でした。



危機感はあるものの、人の知恵でまだまだどうにかできそうです。学校環境教育現場に入る機会の多い私たちとしては、ますます自分たちの活動内容を充実させていきたいと思えます。

参考資料: 環境危機時計 (<http://www.af-info.or.jp/jpn/questionnaire/questionnaire.html>)

経済産業省ホームページ・三洋電機 (<http://www.sanyo.co.jp/eneloop/lineup/charger.html>)

エコけんニュース もうすぐ100号に! (Ⅷ)

～広報紙の役目について～

今回でエコけんニュースも98号。100号がいよいよ目前に近づいてきました。今回はエコけんのある限り続くであろう広報紙の役目について、さらに考えてみたいと思います。

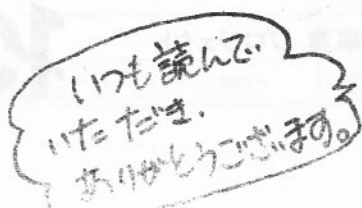
当たり前のことですが、広報紙は「広報」する「紙」ですから、広く一般の人にお知らせするためにあります。しかし、私たちのような団体にとって、広報紙は結果として団体を問い直すためにもあります。

以前この連載で、エコけんがNPO法人になったきっかけに助成金申請書を作ったことを述べました。それと同じように、広く一般の人を讀者に前提した文章を書くときには、必ず自らのスタンスや、方向性を改めて問い直すこととなります。趣旨は似かよっていても、文章によって人柄印象はかなり違います。つまり姿勢が見え隠れするのです。さらに、それをかみ砕き、自らにも、他へも伝えようとする、再確認しようとする、その考える過程、鍛えられる過程にこそ、広報紙の役目があるのかも知れません。



来るべき100号記念イベントでは、「伝えるコツ」をテーマに開催する予定です。わかりやすい、おしゃれな伝えるコツはもちろんのこと、このあたりのことも参加者と共有できたらいいな、と考えています。

さて、エコけんには、密かに自慢できると自負しているものがいくつかあるのですが、その中のひとつに、ずっとエコけんニュースを形にしてきたニュースデザイナーがいます。彼女は、黙々と書き手の意図をくみ取り、より伝わりやすくデザインし、かつ補ってくれます。その信頼によりこれまで毎月、発行を続けることができました。結局、ありがたいことにエコけんの財産は人なのでした。



これから
エコけんを
よくお願ひします。

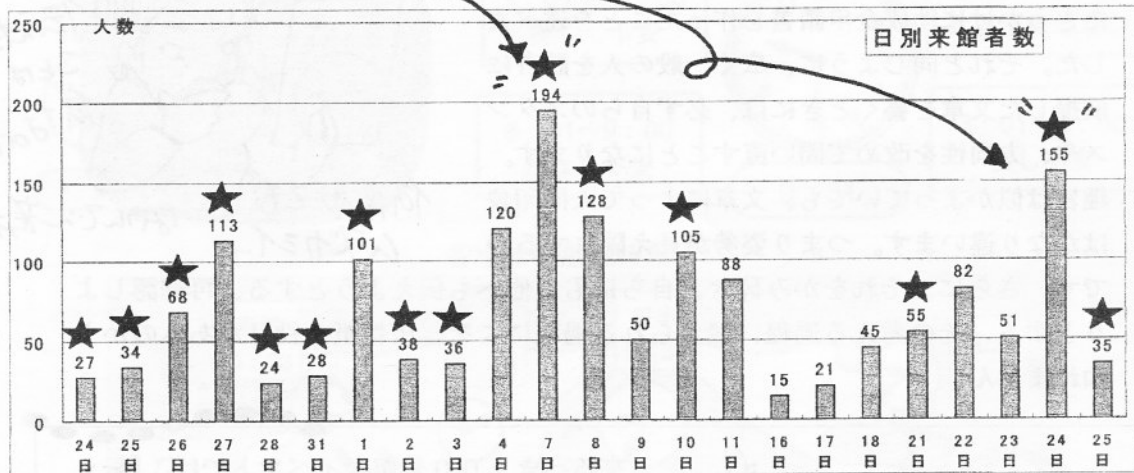
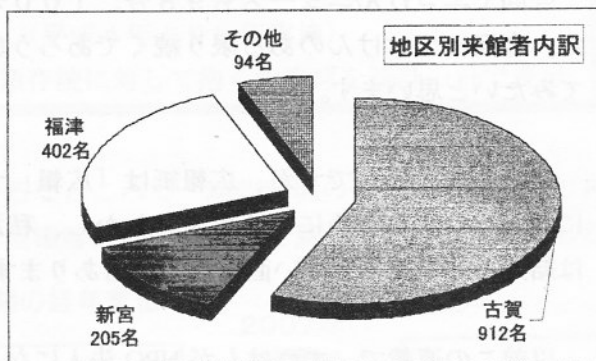
「夏休み教室来館データ」

エコロの森ステーションに今年もたくさんの方に来ていただきました。
7月24日～8月25日（開館日23日）来館者1,613人でした。

教室がない時でも、遊びに来てくれる常連小学生が増えました。少しずつエコロについて伝えていきたいと思います。

かえこ

ひとときの日は、
「かえこショップ」開催日!



★教室開催日



まなび つどい つばき
エコロの森 再生・展示棟
ecolo no mori station

◆◆◆◆ 古賀清掃工場 再生・展示棟 ◆◆◆◆

☎ 811-3121 古賀市筵内1970-1 ☎ 092-942-1530 内線 (701)

☎ FAX 092-942-1532 ✉ メール ecosta@ecolo-no-mori.com

～事務局より～

❖ 10月7日(日)11:00～15:00 エコロの森において「第3回エコロまつり」開催。

今年も運営事務局としてがんばります。

❖ エコけんニュースは、古賀市市制施行10周年記念事業 プロジェクト「わ」に参加協力します。

